



# 常一小だより

令和2年10月30日  
松戸市立常盤平第一小学校

11月号

児童数 132名  
学校HPアドレス <http://www.matsudo.ed.jp/tokil-e/>

## 子どもたちの成長に必要なもの

校長 平松 澄明

先月の26日に全校徒歩遠足「常一小のみんな！集まれ21世紀の森」(略して「常一あつ森」)が、清々しい秋晴れの下で実施されました。今年初めて全校で集まって行動した大きな行事に、子どもたちは大満足でした。「『取り戻し』の2学期」の第1弾が成功裏に終わったのは、大変うれしいことです。今回の行事が「成功」といえる根拠は…、

- (1) 雨天延期ではありましたが、予備日に好天に恵まれて計画した活動が全てできた。
- (2) たてわり活動で行動した往路の歩き方が大変落ち着いており、午前中のオリエンテーリングや集団遊びで上級生がリーダーシップを発揮して、常一小の子どもたちが一つとなって活動できた。
- (3) 特に6年生は、最高学年として初の活動であったための緊張からか、当初ぎこちない感じでしたが、午後の活動場面になるとすっかりリーダーとして活躍していて、その1日の成長ぶりが素晴らしかった。と、いったことが挙げられます。

特に(3)は、本当に目覚ましいものを感じました。雨天でその前の金曜日に博物館見学を済ませたことが、むしろよかったようです。雨天延期の計画変更で、6年生にとっては午前の部に引き続きたてわり活動リーダーとしての役割ができました。経験は緊張を解きほぐし、各グループの絆も深まったところでの活動は、子どもたちの心からの笑顔を生みました。

コロナウイルス禍さえなければ、いつも通りの時が流れ、子どもたちは日常の経験を通して、日々成長してきたはずです。ところが、今年は学年での活動を余儀なくされ、ガイドラインなどの制約で教室の机に縛られた学校生活を送ってきたため、本来育まれるべき力が十分に発揮できずにいました。

学校での「学び」の醍醐味は、「人との関わりの中で学ぶ」ということです。上級生は後輩を気遣い、下級生は先輩を慕って活動する。そこで育まれる絆こそが、学校での学びの成果であり、子どもたちの成長に必要なものなのです。遅ればせながら、その機会を持つことができよかったと思います。

子どもたちの成長の糧は、豊富な知識とより多くの経験です。知識は、テストや通知票の評価で身に付けた実感があります。経験には、子ども同士の認め合いと周囲の大人の励ましと評価が大切です。

さあ、今度は「秋の思い出 スポーツフェスティバル」(略して「スポフェス」)です。子どもたちと私たちの準備は既に始まっています。そして、再び常一小の子どもたちが一つになる姿を、保護者の皆さまに見ていただき、認めていただけることを目指してがんばっています。

そこで、お願いがあります。スポフェス当日に写真やビデオの撮影も構いませんが、「子どもたちの頑張る姿を応援する拍手のご用意もお忘れなく…」ということです。皆さんに励まされ、認められ、子どもたちがまた一つ大きくなる姿を目の当たりにしたいと思います。「がんばろう 常一小！」

## 除草作業へのご協力ありがとうございました

2日間にわたる作業にのべ25名の保護者の皆さまにご協力いただきました。日頃のフラワーボランティアの方々のご協力とあいまって、校舎周辺がとてもきれいになりました。「スポフェス」の際には、気持ちよくご参観いただけるようになっています。心より感謝申し上げます。

## 家庭学習のすすめ



「先生、昨日ちょっとだけがんばりました。」と言って提出された家庭学習用のノート。中を見れば、丁寧に書き込まれた漢字の練習。いったい何時間をかけたのでしょうか。数ページに及ぶ努力の軌跡と、「ちょっとだけ」の照れ言葉。「努力は絶対にみんなを裏切らない。」自分が興味あることがあれば、そこから始めるのが一番楽しいと思います。秋がぐっと深くなってきます。鈴虫の音を聞きながら、お月見を楽しみながら、机に座ってみるのはいかがでしょう。

## 学習ノートに残る努力の軌跡



各教科の学習で、子どもたちはノートに学習の足跡を残していきます。定規を使って学習問題を囲ったり、自分の考えや感想を書き込んだりしながら、頭と手をフル稼働させています。中には、算数の計算で大きな花丸を先生からもらったり、励みのコメントをもらったり、何度も消しゴムで消しながら合格をもらったこともわかります。一生懸命に取り組んでいる子どもたちの努力の軌跡を、どうぞ今後もご家庭の温かいお声がけでお褒め下さい。

## あのね、今日学校でね…

コロナ禍で学校教育活動に配慮が求められています。中でも、友達との距離（ソーシャルディスタンス）については、従来の自由な付き合い方やふれあいから遠ざかる状況にあります。自分と異なる考えや行動と出会ったり、共に考えを深め合ったりしながら成長することは、とても重要です。友達同士の横のつながりを今後も大切にしていきます。



## 一人一台のPC

子どもたちが一人一台のパソコンを使える環境づくりが早急に進んでいます。パソコンがあるということは、ネットを通して世界ともつながることができるということです。子どもたちの興味はさまざま。一斉学習の中で培ってきた効率的な指導から、個の指導の充実に必要な転換をはかる時代に突入してきます。子どもたちも頑張る、先生方も頑張る。さあ常一小で学ぶ子どもたちの笑顔のために創意工夫を重ねます。

## 「せんせ〜い、わたし走るのきら〜い!つかれる!」



疲れることを好んで行う人は、あまりいません。「せんせ〜い、わたし、スタートのドキドキがいやなの。」との声も聞こえます。競争は順位も出るし、緊張するし、疲れるし前の晩から嫌な夢を見るし…。それは大人も同じです。でも不思議!体を動かすと、なんだかスッキリすることがあるし、競争で一生懸命に走ると、空がいつもよりも青く感じるし、お家の方に褒められちゃうし…。

これから縄跳びの学習も始まります。一緒に跳んでみましょうね。技をマスターしたら教えてくださいね。一緒に思いっきり体を動かしましょうね!一緒に青空を楽しみましょう!